

滋賀県立八幡高等学校 平成30年度 学校評価

本年度の重点目標	◎ 教員の授業力の向上、生徒の学習習慣の定着等により、学力向上を図り、希望進路を実現させる。 ◎ 部活動、学校行事、HR活動等を通して調和のとれた人格形成を行い、自主性、協同する態度、困難に耐える力を育成する。 ◎ 健康で規則正しい生活態度を確立するとともに自尊感情、優しい思いやりの心、感謝の心を育成する。 ◎ 学校の目標や生徒の活動の様子を広く説明し、家庭や地域と連携を図り、開かれた信頼される学校づくりを推進する。
----------	---

領域	重点評価項目	中間評価（10月）	総合評価（3月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	教育方針「人格の陶冶、学力の向上、心身の練磨」にもとづいた学校経営に努めている。			
	保護者や地域に、本校教育について説明と広報に努めている。			
2 学習指導	自主的、自律的に探究心をもって学習する姿勢を育てている。			
	日常の授業や補習等を通じて生徒の学力の伸長に努めている。			
3 生徒指導	基本的な生活習慣の確立と礼儀やマナー等の規範意識を育成している。			
	服装等の身だしなみや言葉遣いを整えさせ、規律ある校風をつくっている。			
	いじめ防止基本方針にのっとり、いじめの未然防止や早期発見に努め、適切に対応している。			
4 進路指導	計画的な進路指導やガイダンスにより、進路希望の実現に努めている。			
	進路研究や選択のための情報提供や面談など、きめ細かな指導をしている。			
5 特別活動等	部活動の入部を勧め、活発で充実した活動を行っている。			
	生徒会活動を通じ、主体的に計画・運営できるよう指導助言している。			
6 学校図書館	蔵書の充実を図り、授業の他図書館の利用を広げる取り組みをしている。			
	読書の楽しさや意義を知らせ、自ら学ぶ意欲を喚起している。			
7 保健・安全指導	生徒の心身の健全な発達のため、健康教育に努めている。			
	生徒の健康管理、病気予防に努めている。			
8 人権教育	身近なところから人権尊重意識を高め、豊かな人間関係づくりに努めている。			
	生徒は明るく生き生きとした学校生活を送っている。			
9 環境教育	環境意識を高める教育を行い、清掃活動や環境美化活動の推進に努めている。			
	環境問題を理解し、節電・節水などの省資源に努めている。			
10 事務・管理	学校施設設備の点検管理と教育環境の整備に努めている。			
	学校事務の適切な管理を行い、予算の効率的な執行に努めている。			
11 その他 学校の取組み	学校は、PTA・後援会・同窓会との連携による活動を活発に行っている。			

（注）・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた評価項目の公表
 10月 中間評価（自己評価）の公表（8月までの教育活動に対する中間評価）A B C Dの4段階評価で示す。
 3月 総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）A B C Dの4段階で示す。
 ・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
 ・A B C Dの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。

学校のURL：<http://www.hachi-h.shiga-ec.ed.jp/>